

「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう。

めあて

三つのせつめいのくふうをつかって、「なるほどせつめいカード」を書こう。

①じゅんじよをあらわすことばを使う。

② 数字や絵を入れる。

③ 作るときに気をつけることやあそび方を教える書き方をへらうする。

◆何について→〈はじめの文〉 ◆〈ざいりようとうぐ〉
↓かじよう書き

「なるほどせつめいカード」

【の作り方】

〈はじめの文〉
・・・をせつめいします。

◆何についてのせつめいかを書く。

〈ざいりようとうぐ〉
・・・

◆かじよう書き
② 数字や絵

〈作り方〉
はじめに、・・・
つぎに、・・・

①じゅんじよをあらわすことば
② 数字や絵
③ 作るときに気をつけること

おわりに、・・・

〈あそび方〉
・・・ですよ。

③あそび方を教える書き方

【6・7 / 9時間目 指導略案】 使用するワークシート(なるほどせつめいカード)書いてせつめいしよう⑥

本時のねらい ※ここに示す略案は2時間計画です。各学級で弾力的に取り扱ってください。

三つの説明の工夫を使って、「なるほどせつめいカード」を書くことができるようにする。

1 本時のめあてを確認する。

○ これまで学習してきたことを生かし、おもちゃの作り方を説明する文章を書くことを知らせる。

2 三つの説明の工夫を確認する。

○ 三つの説明の工夫を示したカードを黒板に提示し、次の三点について確認させる。

① 〈作り方〉を説明する文章を書くときは、順序を表す言葉を使うこと。

② 説明が伝わりやすくなるように、具体的な数値、簡単な絵を入れること。

③ 〈作り方〉では、作るときに気をつけることを入れたり、〈遊び方〉では実際に遊ぶときのことを書いたりすること。

○ 〈はじめの文〉では、何についての説明かをはっきりと書くこと、〈ざいりようとうぐ〉の部分は簡潔書きで書くことも合わせて理解させる。

3 「なるほどせつめいカード」を書く。

○ カードのレイアウトを黒板で示し、四つの項目に分けて書くことをワークシートで確認する。

○ 〈はじめの文〉、〈ざいりようとうぐ〉、〈作り方〉、〈あそび方〉の項目の書き出しの部分は一斉指導で書かせるようにする。

※ 作業が進まない児童には、あらかじめ順序を表す言葉を入れたワークシートを与えたり、実際におもちゃを触らせて確かめさせるなどの手立てを取るようにならしましょう。

評価・三つの説明の工夫を使って、おもちゃの作り方を説明する文章を書いている。(書イ)

・ 順序を表す言葉を使って、つながりのある文章を書いている。(書ウ)

4 書いた文章を読み返す。

○ 「読むこと」で学習した三つの説明の工夫を観点として示し、書いた文章を読み返させ、付け加えた方がよい点や違う書き方をした方がよい点を見付けさせる。

○ 誤字脱字や改善するべき部分を見付けた場合は、書き直しをさせる。

評価・「しかけカードの作り方」の学習で学んだ表現を文章の中に生かしている。

(言イ)(ウ)

5 本時の学習を振り返り、次時の学習について見通しをもつ。

○ 説明の工夫を使って書くことができたかを振り返らせ、ワークシートに自己評価をさせる。

○ 次時は、友達と「なるほどせつめいカード」を読み合うことを伝える。